

facebook

右京の「いま」をお伝えしています



市政情報総合案内コールセンター
京都いつでもコール
受付時間 午前8時～午後9時(年中無休)
☎661-3755、FAX661-5855

● 犬は必ず引き綱などをつないで飼いましょ。子犬・子猫を望まないなら、避妊・去勢手術を受

● 犬は生涯に1度の登録と年1回の狂犬病予防注射を受けさせましょ。水生後91日以上の犬は狂犬病予防法により義務付けられています。 問衛生課 ☎861・2187

犬・猫の飼い方について

鳴き声やふん尿の後始末、猫ノミの被害など犬や猫に関する苦情が多くなっています。飼い主の皆さんは以下のことに注意して責任を持って飼いましょ。 ● ふん尿は自宅ですせる習慣を付けましょ。 ● 散歩時は、ふん尿を処理し、水で洗い流しましょ。 ● 猫は屋内で飼いましょ。 ● 犬は必ず引き綱などをつないで飼いましょ。 ● 子犬・子猫を望まないなら、避妊・去勢手術を受

けるようにしましょ。 ● 噛みぐせ、無駄吠えする犬は適切にしつけをしましょ。 ● 名札や鑑札、マイクロチップなどの標識をつけましょ。 ● 犬は生涯に1度の登録と年1回の狂犬病予防注射を受けさせましょ。水生後91日以上の犬は狂犬病予防法により義務付けられています。 問衛生課 ☎861・2187



右京区まちづくり支援事業の活動を紹介します!



◆ 女子大生と踊ってくれない? 華羅紅(京炎そでふれ!) 京都光華女子大学所属の京炎そでふれ! 華羅紅です。私達は主に全国各地のお祭りや踊っています。活動はそれだけではなく、地域の夏祭りや老人ホーム等で「京炎そでふれ! スペシャルバージョン」という踊りを披露しています。さ

らに、誰でも踊ることが出来る「簡単バージョン」を子どもや高齢者と一緒に踊り、楽しく交流しています。この踊りは京都らしさがたくさん詰まった踊りで、とても馴染みやすいものとなっています。ぜひ皆さんも私達と踊りませんか? 問京炎そでふれ! 華羅紅・京都光華女子大学 ☎325・52221

また指導した学生達は、対象となる学年の子供たちが理解できるように、使う単語を工夫することで、人に教える難しさを学びました。今後もこれまで以上に地域での活動を頑張ります。 問京都外大クラブ(松本) ☎080・6182・4529



「エコまちステーション」が行く! 27

京のまちを美しく! 落ち葉の舞う季節となりました。京都には門掃き・町内清掃等の良い習慣があります。

京都市では、道路などの公共的な場所です自主的に清掃活動を実施いたたく市民・団体の皆様からの申請に基づき、ボランティア清掃用ごみ袋の給付等の支援を行っていますのでご利用ください。

問西部まち美化事務所 ☎882・5787
右京エコまちステーション ☎366・0190

常寂光寺

時間: 午後10時30分から整理券配布(先着80組)、午後11時45分から除夜の鐘つき
住所: 右京区嵯峨小倉山小倉町3
問 ☎861-0435

二尊院

時間: 午後11時45分から除夜の鐘つき(人数無制限1人1回まで)
住所: 右京区嵯峨二尊院門前長神町27
問 ☎861-0687

年末年始は除夜の鐘をつきに出かけませんか?

情報発信サポーター 小西さんの選ぶお寺

私のおすすめは常寂光寺と二尊院です。家族と除夜の鐘つきに行きましたが、とても気分良く年越しを迎えることができました。新しい1年を迎えるに当たって皆さんも除夜の鐘つきに出かけてみてはいかがでしょうか!

情報発信サポーター 小西智子さん

土曜塾の子ども達が消火訓練を実施!

11月9日、太秦学区の総合防災訓練の中で土曜塾の子ども達による消火訓練が実施されました。土曜塾は、毎月第1土曜日に実施されている子ども達の防災意識を高めるための取組で、太秦学区自主防災会と右京消防署が連携して進めてきました。消火訓練の他にもAEDの使い方や担架の作り方など様々な訓練が消防隊員の方の指導で行われています。

川筋自主防災会長は「将来の防災を担ってくれる大人に成長してほしいと考えて始めました。子ども達の取組を見て、保護者の防災意識が高まったことも成果の1つ。子ども達には楽しく学んでほしいですね。」と話されています。

当日は子ども達が笑顔で消火器を使いこなす姿を見られ、とても頼もしく感じました!

No.6 広がれ! ステキ★活動

親子で安らぎ楽しめる場、フリースペース「ゆるり」

子育て中の母親や地域の方が集って会話やワークショップを楽しむことができる場、フリースペース「ゆるり」が平成26年8月、嵐電御室仁和寺駅前に開設されました。

小菅香織さんの発案で始まった「ゆるり」は、夫の孝行さんが営む「こすげ治療院」隣の空き店舗を改装して造られています。香織さん自身、3児の子の母親であり、自分と同じように子育てに忙しい人々が安らげる空間を作りたいという思いから「ゆるり」と名付けられました。

母親ならではの苦労話などを共有

11月17日(月)に開かれた「かたかたさんのちくちくワークショップ」では、今日も大人と子どもとの笑い声が響いています!

地域の方々が互いに支えあって運営されている「ゆるり」では、今日も大人と子どもとの笑い声が響いています!